



聴衆も参加したパネルディスカッション

8月25日、6回目となる「宇宙シンポジウムin串本」（県主催）がメルキュール和歌山串本リゾート&スパで開催され、会場では約360人、オンラインでは約300人が参加しました。

シンポジウムでは、次世代の大規模プロジェクトである「H3」の前プロジェクトマネージャーで、JAXA理事の岡田匡史さん、月へのピンポイント着陸を目的として開発された「小型月着陸実証機SLIM」のプロジェクトサイエントティストで、JAXA宇宙科学

研究所教授の澤井秀次郎さんが登壇。また、串本古座高等学校の「宇宙探究コース」や、CGS部の生徒が今までの取り組みや今後の抱負などを発表。「宇宙の事を学ぶ楽しさを伝える役割を担うことができるよう、学び続けたいと思う」と意気込みを語りました。

パネルディスカッションでは、東京大学大学院工学系研究科の中須賀真一教授、スペーススワン(株)の遠藤守取締役、串本古座高等学校・藤島徹教諭も参加し、「挑戦」をテーマに討議。また、遠藤取締役からは12月にカイロスロケット2号機を打ち上げるための準備を進めているとの発表がありました。



串本古座高等学校の生徒による発表

ネクストステージへ

宇宙シンポジウムin串本

11月11日(月)

Sora-Miru 図書コーナー オープン

旧古座分庁舎改修工事にともない一時閉鎖していましたが、今秋11月11日(月)、Sora-Miruの「図書コーナー(星空ライブラリー)」としてリニューアルオープンいたします。

宇宙やロケット関連の図書も充実していますので、ぜひご利用ください。



◇お問い合わせ先◇ 串本町教育委員会 Tel 0735-67-7260

10月



主な電話番号等

市外局番 0735

串本町役場	62-0555
くしもと町立病院	62-7111
串本町教育委員会	67-7260
文化センター	62-0006
串本町図書館	62-4653
保健センター	62-6206
地域包括支援センター	62-6005

防災行政無線(町内)放送の

電話音声案内サービス

0120-928-649(無料)



October, 2024 No.234

Contents
もくじ

- Sora-Miru 図書コーナーオープン/コンテンツ
- まちのわだい
- 古座郵便局で公的証明書発行業務を開始/コンビニでの住民票・印鑑証明の発行を開始
- 行政なんでも相談所/本人通知制度をご利用ください
- 自衛官等募集/和歌山県最低賃金
- 串本町水道事業検針員募集/児童手当法改正
- 10月は里親月間です
- 「自動通話録音機」の無料貸与を行います
- 令和6年第3回定例会
- 第2回国保運動教室の参加者募集/浄化槽の日
- 健康だより
- 健康寿命と医療費の関係/よろこび・かなしみ/献血
- 火災・救急件数/人口と世帯/相談/今月の納税
- 町民の皆さまへ



JAXA 理事
宇宙輸送技術部門長

おかだ まさし
岡田 匡史 さん

H3ロケットの初号機は、エンジンでトラブルが発生し、2回打ち上げを延期。最終的には1号機の打ち上げは失敗に終わってしまったが、2・3号機は打ち上げを成功させることができた。越えられない壁はないと思っている。技術の壁を乗り越える時にはモチベーションの維持がすごく大事で、心が折れそうなとき、皆さんの声、ロケットエンジニアの燃料となる。(皆さんの声からの応援の声で、開発時の) 苦しかった10年を何とか乗り切ることができた。

誰のためにやっているのかというのをいつも考える。私は皆さんと一緒に宇宙開発をやっているつもりでいるし、自分を含めて皆さんを幸せにするためにロケットというものを当たり前のように乗りたいと思っています。



JAXA 宇宙科学
研究所教授

さわい しゅうじろう
澤井 秀次郎 さん

SLIMは紆余曲折あったが、月の表面に降り立つことができた。「今までにない小さい着陸機を發明したこと」「ピンポイント着陸する技術を獲得できたこと」の2つの観点で、世界初の成果として人類に貢献できたのではないかと考えている。しかし、SLIMの目的は世界初を主張することではなく、将来の人類、特に若い未来の人類に貢献するということを目指してやってきた。

一般的に、すべての最新技術は未来で陳腐化する。なので、SLIMを一つのきっかけにして、月惑星の探査が発展して、近い将来SLIMが忘れ去られるほどの分野の技術が進むことを願っている。新しい挑戦がどんどん出てくるという成果が出てくるのが我々にとって一番うれしい。